

■「最前線はまかせろー夏に鍛える 1 部 6 校の D L たち」①

大男たちの決意ー北海学園大

8 月 3 日、札幌市清田区の北海学園清田グラウンドのラグビー場。午前の強化練習を終えたゴールデンベアーズの選手たちがグラウンド脇の慰霊碑の前に集合し、8 年前の練習中に熱中症で死亡したチームメートの慰霊の会が行われた。8 0 人あまりの選手、スタッフを前に成田滉佑主将（4 年）が事故の再発防止を誓い、秋季リーグ連覇への決意を述べると、守備の最前線をまかされる 4 人の大男たちも大きくうなずいた。

2 4 日開幕の北海道学生選手権で連覇を狙う北海学園大。伝統のパス攻撃を生かすためにも、昨年の全日本大学選手権の中京大戦で宿題となった守備の立て直しが急務だ。その守備チームの 1 列目を担うのが沖田悠爾（4 年）、目黒彰良（4 年）、山村壮太（2 年）、高橋淳大（1 年）の D L たち。平均身長 1 8 3 . 3 センチ、平均体重 1 0 2 キロの巨漢がそろった。



昨年のベストイレブンにも選ばれた D L リーダーの沖田は「低い当たりとアグレッシブな動きが持ち味」と 4 人の特徴を紹介する。今春のオープン戦は 5 試合で 4 勝 1 敗。昨秋のリーグ戦では 1 点差で辛勝した釧路公立大戦は、D L

陣の踏ん張りで相手ランを抑え込み47-18で快勝した。12-21と惜敗した北海道大戦もハードラッシュで相手RBのファンブルを誘い、パスも思うように投げさせなかった。高木幸樹HCは「秋に向けてDLが課題」と厳しい評価だったが、手ごたえもつかんだ春になった。

大量29人の1年生選手が入部した今年の北海学園大。DL陣も総勢8人と厚みが増した。リーダーの沖田は「DLでランもパスも止める。アグレッシブな当たりでタックルし、全員のパスラッシュで相手QBに圧力をかける」と秋季リーグをにらむ。目黒は「速さが持ち味。QBサックを決める」、山村は「ヒットの重さが自慢。当たりでOLを圧倒する」と意気込む。187センチ、112キロの巨体で先発をつかんだ1年生の高橋は「体を生かした力強いパスラッシュをする。新人賞も狙いたい」と宣言した。（塚田博）

【写真】

「低い当たりとアグレッシブな動きで」と意気込む左から沖田、山村、高橋、目黒のDL陣